

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
経営戦略論				平野 真	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	3年次	講義	無	無
授業の概要 (Course Description)					
<p>経営戦略論は、企業間の競争が激化した戦後の国際化時代を背景に米国を中心に発展してきました。この授業では、戦略論の歴史や主な戦略論の考え方を学習し、基本的な考え方を理解した上で、実際の戦略づくりの練習を行います。また、戦略論を更に分野別に、財務戦略論、技術戦略論、マーケティング戦略論、ビジネスモデル戦略論、組織戦略論、事業戦略論の各論について解説し、現代企業の戦略論の立て方についての基本知識を学びます。なお授業の進め方は、学生の理解度に応じて多少の変更を行うことがあります。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>1) SWOT分析の考え方を理解し、実際にSWOT分析を活用して戦略を練ることができるようになる。 2) 現代企業の様々な戦略の立て方を理解し、自分の考えを述べられる。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	オリエンテーション、第一部経営戦略の基礎 (1) 経営戦略とは？戦略論の歴史				
第 2 回	第一部経営戦略の基礎 (2) ポジショニング・ビュー1				
第 3 回	第一部経営戦略の基礎 (3) ポジショニング・ビュー2				
第 4 回	第一部経営戦略の基礎 (4) リソース・ベースド・ビュー1				
第 5 回	第一部経営戦略の基礎 (5) リソース・ベースド・ビュー2				
第 6 回	第一部経営戦略の基礎 (6) SWOT分析1				
第 7 回	第一部経営戦略の基礎 (7) SWOT分析2				
第 8 回	第一部のまとめ、発表会				
第 9 回	第二部戦略論各論 (1) 財務戦略論				
第 10 回	第二部戦略論各論 (2) 技術戦略論				
第 11 回	第二部戦略論各論 (3) マーケティング戦略論				
第 12 回	第二部戦略論各論 (4) ビジネスモデル戦略論				
第 13 回	第二部戦略論各論 (5) 組織戦略論				
第 14 回	第二部戦略論各論 (6) 事業戦略論				
第 15 回	総復習とまとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>授業で特に重要なのは復習である。授業で学習した内容がよく理解できない場合や授業中に埋めべきレジュメの空欄が埋められなかった場合は、必ず次回に質問して理解を深めるようにする。また頻繁に宿題があるので、これを欠かさず行い提出することが大切である。理論の理解を確認する中間発表会があるので、この準備をするを通じ、忘れないうちに学習した知識を整理すること。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
宿題や授業中の発言など (20%) 中間発表会 (30%) 最終テスト(50%)	秀：適切に問題点を指摘し、特筆すべき鋭い分析や考察ができ、現実的な解決策を提示できる 優：授業で学習したことを良く理解でき指摘した問題点に対し適切な解決策を提示できる 良：授業で学習した内容を基本的には理解でき、指摘した問題点に対し解決策を提示できる 可：授業内容の理解、問題点の指摘と解決策の提示が、最低限の水準を満たしている 不可：授業の内容が理解できておらず、問題点や解決策の提示ができない、あるいは3分の1を超えて欠席した
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】 授業で配布するレジュメを中心に行う。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	経営能力開発センター編「経営学検定試験公式テキスト1」中央経済社（就職対策として、資格の取得に興味のある人に役立つ。） 基本的には、講義のレジュメの中で、参考文献を紹介する。
備考 (Other Information)	3分の1以上（6回以上）の欠席は、単位不可とする
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メール連絡 hirano-makoto@fukuchiyama.ac.jp